



2015 紀の国 わがやま 国体

# 開催へカウントダウン

白 浜

## 田辺工業高 生徒が製作 役場前に掲示板



白浜町の役場前に、田辺工業高校(田辺市あけぼの)の生徒らが作った紀の国わかやま国体までの日数を示す電光掲示板が設置された。27日にお披露目式があり、開催まで

あと「364」日とカウントダウンがスタートした。電光掲示板縦約2.9m、横約2.5mは、紀の国わかやま国体白浜町実行委員会(事務局・町国体推進課)が、高

校外で使われるものを作る班」を選択している機械科3年生と工作部の生徒ら計10人が、今春から製作を進めてきた。

在校生に手作りのカウントダウンボードで国体を盛り上げてもらうと同校に依頼。同校機械科の立花昌史教諭(42)の指導で、課題研究「校内

製作を進めてきた。イメージは白浜の円月島や海。南国を表現できるようヤシの木も添えた。さびないようステンレスを中心に

使っており、配線や旋盤、溶接などの技術を生かした。円月島を表現するためステンレスをカーブに切ることなどが難しかったという。

役場前であったお披露目式には、井瀬誠町長、製作を手掛けた生徒や教員らが出席。井瀬町長は「国体への機運がますます高まっていくことと思う。カウントダウンボードの日数が減っていくことを楽しみに登庁したい」とあいさつした。学校へ感謝状のほか、国体のマスコットキャラクター「きいちゃん」から「きいちゃん」のぬいぐるみが手渡された。

製作した生徒を代表して白浜町に住む機械科3年生の前川有輝君(18)が「完成したときは達成感があった。国体をPRし、始まるまでの日数をいろいろな人に知ってもらいたい」と話した。

カウントダウンボードの前で、「きいちゃん」も交えて記念撮影。数字を制御する部分の配線を担当した工作部で電気電子科2年生の中村信介君(17)は「こんな細かな配線

をしたことがなくて難しく、15時間ぐらいかかった。カウントダウンがゼロになるまできちんと動いてほしい」と話した。

△ 田辺工業高校の生徒が手掛け、白浜町役場に設置された電光掲示板(27日、白浜町で)